様式第２号（第１０条関係）

会議記録

附属機関の名称	熊谷市行政改革推進委員会
開催日時	令和６年１２月２４日（火）１０時３０分から１２時１０分まで
開催場所	市役所本庁舎６０３会議室（東）
出 席 者	【委　員】 大久保和政会長、吉田公一副会長、腰塚菜穂子委員、 沼上政幸委員、岩瀬康江委員、山田廣和委員、町田克則委員、 吉田福一委員、内田功一委員、植野智恵子委員、甲斐隆委員 【事務局】 増田総合政策部長、服部企画課副課長、松村主幹、中村主査
傍 聴 人	なし
問い合わせ先 （所管課）	総合政策部企画課（市役所本庁舎３階） ℡　０４８－５２４－１１１１（内線２１６）
内　　容	１　委嘱状の交付 小林市長から出席者に対し、委嘱状を交付した。 ２　市長あいさつ ３　委員紹介 ４　正副会長の選出 市長が座長となり、正副会長の選出を諮り、会長に熊谷商工会議所大久保会頭、副会長にくまがや農業協同組合吉田代表理事組合長が選出された。 ５　正副会長あいさつ ６　議題 （１）会議の公開について 熊谷市附属機関の会議の公開に関する要綱に基づき会議を公開とし、要旨をまとめた会議記録を作成・公開することが決定した。 （２）第４次熊谷市行政改革大綱 令和５年度実施状況報告について 事務局から実施状況について報告を行った。主な意見、質問等は次のとおり。 （意見、質問等） （委　員）先進自治体の取組の研究は非常に重要だと考える。実際の研究の方法はどのようなものか。 （事務局）基本的には資料を基に研究を行うことが多いと考えるが、例えば県主催の研修等で他市の事例が紹介されるケース

	や、現地視察を行うこともある。 （委　員）実際に苦労している点だとか、資料には表れない内容を知ることも重要なので、是非現地視察も行っていただきたい。 （委　員）行政評価手法の課題認識をお聞かせいただきたい。 （事務局）様々な事業がある中で、必ずしもこれまでの評価がなじまないものがあり、そうした事業をどのように評価していくかという点は１つの課題と認識している。 （委　員）PFS、成果連動型民間委託契約方式について、その内容や現状を教えていただきたい。 （事務局）成果に応じて報酬が支払われる新しい形の契約の方式で、内閣府などが自治体に向けて後押しをしており、医療や保健の分野で導入されることが多い。評価の仕組み自体が複雑な分、実施に手間がかかる点が、課題となり、なかなか自治体に浸透していないと考えられる。 （委　員）子育て支援・保健拠点施設整備に関して、保健師の数が熊谷市の場合少ないと認識しているが、保健師の確保、計画的な採用に関してはどのような状況か。 （事務局）近年は毎年保健師の採用試験を実施しており、充実に取り組んでいる。 （委　員）自己啓発研修等助成制度等の活用による資格取得について、どのような例があるのか教えていただきたい。 （事務局）宅地建物取引士、社会福祉士、行政書士の資格取得などの例がある。 （委　員）国家資格など、必ず業務に有効となると考えられるので、挑戦しやすい環境の整備に是非取り組んでいただきたい。 （委　員）デジタル人材育成・確保に関する基本方針について、デジタル枠の職員の確保の見通しについてお聞かせ願いたい。 （事務局）新たにデジタル枠ということで採用を行っているが、応募は少ない状況。待遇面の差などもあると思われるが、確保できるよう取り組んでいきたいと考えている。 （委　員）待遇面の部分に差をつけていくということなどをしないと、なかなか確保も難しいのではないかと考えられる。 （委　員）職員提案制度による事務事業の改善について、一般提案と改善実績提案それぞれの件数と内容を教えていただきたい。 （事務局）令和５年度は一般提案が３０件、改善実績提案が９３件で、一般提案は「人事異動に伴う挨拶回りの廃止」や「各課の図書貸出制度－職員専門性向上図書－」、改善実績提案は「予算査定事務のペーパーレス化」や「GIS を活用した農地に関する相談情報の集積」などとなっており、審査の結果に応じてクマ PAY を渡ししているほか、全部課長の前で表彰を行っている。 （委　員）職員提案での提案は人事評価の対象になるか。 （事務局）人事評価の直接の評価項目として職員提案を位置づけてはいない。ただし、本来の評価対象以外に、その他として実績

	を報告できるようになっているため、提案した職員がそちらで報告を行えば、評価の対象とすることは可能になっている。 （委　員）これだけ数があると審査の負担も大きいかもしれないが、職員の皆さんが市民のためを思って提案してくれることも多いと思われるので、是非こうした取組を継続していただきたい。 （委　員）財政の健全性について、示されている数値を見る限り、現状の熊谷市の財政状況は極めて健全な状態と捉えているが、今後は予算規模が大きくなっていくことも見込まれる。今後の財政全体の見通しをどのように考えているか。 （事務局）もう間もなく施設更新がピークになってくる見込みだが、健全財政を維持しながら、必要なものは実施していかなければならないいと考えている。その際に、予算規模は大きくなっていく可能性が高いが、極力有利な財源を確保して対応していきたいと考えている。 以上